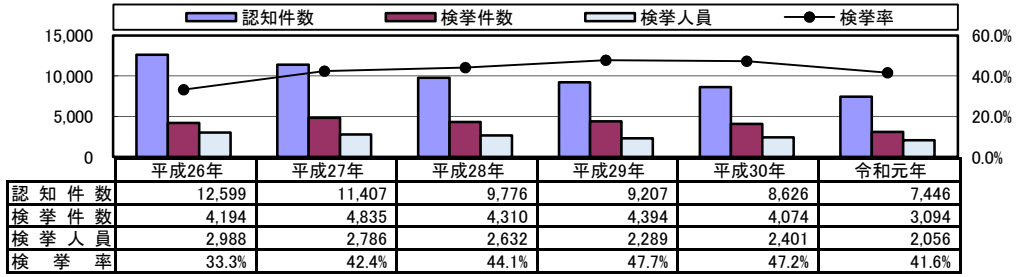


令和元年1～12月の犯罪概況

確定値

1 刑法犯

1 刑法犯の推移



2 特徴

- 前年に比較して、認知件数、検挙件数、検挙人員ともに減少。
- 認知件数の包括罪種別では、凶悪犯は同数で、風俗犯は増加し、粗暴犯、窃盗犯、知能犯、その他の刑法犯は減少。

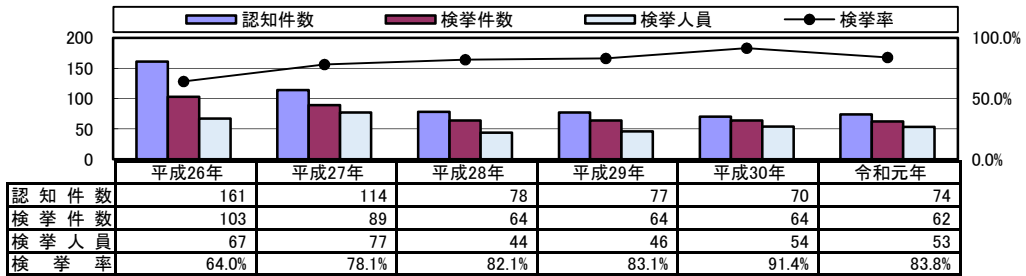
3 罪種別認知・検挙状況

区分	認知件数				検挙件数				検挙人員				検挙率		
	元年	30年	増減 件数	率(%)	元年	30年	増減 件数	率(%)	元年	30年	増減 件数	率(%)	元年	30年	増減 (ポイント)
総数	7,446	8,626	-1,180	-13.7	3,094	4,074	-980	-24.1	2,056	2,401	-345	-14.4	41.6	47.2	-5.6
凶悪犯	22	22	±0	-	22	24	-2	-8.3	20	25	-5	-20.0	100.0	109.1	-9.1
粗暴犯	522	595	-73	-12.3	508	565	-57	-10.1	569	589	-20	-3.4	97.3	95.0	+2.3
窃盗犯	5,064	6,091	-1,027	-16.9	2,086	2,940	-854	-29.0	1,116	1,346	-230	-17.1	41.2	48.3	-7.1
知能犯	282	340	-58	-17.1	137	166	-29	-17.5	103	129	-26	-20.2	48.6	48.8	-0.2
風俗犯	85	84	+1	+1.2	72	74	-2	-2.7	51	60	-9	-15.0	84.7	88.1	-3.4
その他の刑法犯	1,471	1,494	-23	-1.5	269	305	-36	-11.8	197	252	-55	-21.8	18.3	20.4	-2.1

2 重要犯罪

(殺人、強盗、放火、強制性交等、略取誘拐・人身売買、強制わいせつ)

1 重要犯罪の推移



2 特徴

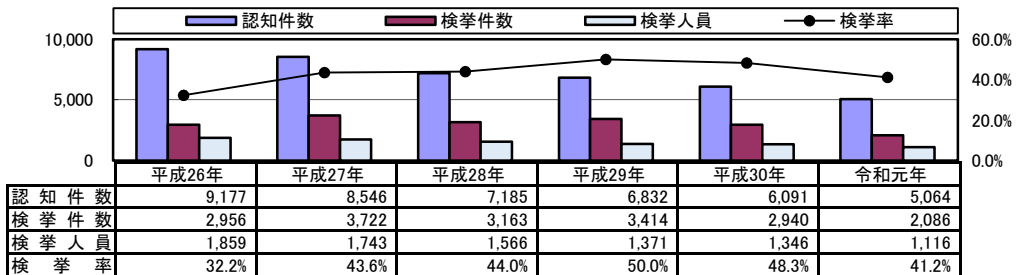
- 前年に比較して、認知件数は増加、検挙件数、検挙人員は減少。
- 認知件数の罪種別では、強盗は同数で、放火、強制わいせつは増加し、殺人、強制性交等、略取誘拐・人身売買は減少。

3 罪種別認知・検挙状況

区分	認知件数				検挙件数				検挙人員				検挙率		
	元年	30年	増減 件数	率(%)	元年	30年	増減 件数	率(%)	元年	30年	増減 件数	率(%)	元年	30年	増減 (ポイント)
総数	74	70	+4	+5.7	62	64	-2	-3.1	53	54	-1	-1.9	83.8	91.4	-7.6
凶悪犯	22	22	±0	-	22	24	-2	-8.3	20	25	-5	-20.0	100.0	109.1	-9.1
殺人	4	6	-2	-33.3	4	7	-3	-42.9	4	7	-3	-42.9	100.0	116.7	-16.7
強盗	5	5	±0	-	6	4	+2	+50.0	8	4	+4	+100.0	120.0	80.0	+40.0
放火	8	4	+4	+100.0	7	4	+3	+75.0	4	4	±0	-	87.5	100.0	-12.5
強制性交等	5	7	-2	-28.6	5	9	-4	-44.4	4	10	-6	-60.0	100.0	128.6	-28.6
略取誘拐・人身売買	2	5	-3	-60.0	2	5	-3	-60.0	1	4	-3	-75.0	100.0	100.0	±0
強制わいせつ	50	43	+7	+16.3	38	35	+3	+8.6	32	25	+7	+28.0	76.0	81.4	-5.4

3 窃盗犯

1 窃盗犯の推移



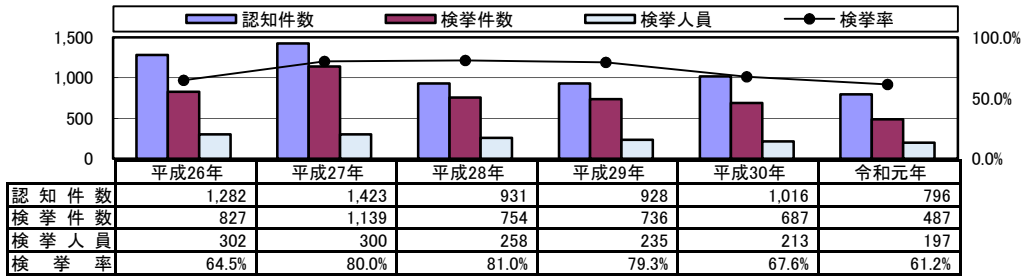
前年比
認知件数 -1,027
検挙件数 -854
検挙人員 -230
検挙率 -7.1

2 特徴

- 前年に比較して、認知件数、検挙件数、検挙人員ともに減少。
- 認知件数の罪種別では、すべての罪種で減少。

4 重要窃盗犯
(侵入窃盗、自動車盗、ひったくり、すり)

1 重要窃盗犯の推移



2 特徴

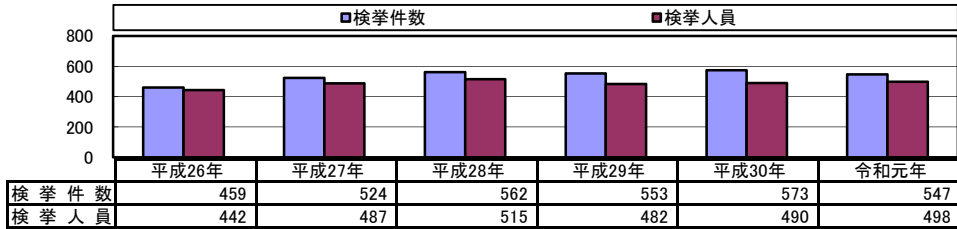
- 前年に比較して、認知件数、検挙件数、検挙人員ともに減少。
- 認知件数の手口別では、自動車盗は増加し、侵入盗、ひったくり、すりは減少。

3 手口別認知・検挙状況

区分	認知件数				検挙件数				検挙人員				検挙率		
	元年	30年	増減 件数	増減 率(%)	元年	30年	増減 件数	増減 率(%)	元年	30年	増減 件数	増減 率(%)	元年	30年	増減 (ポイント)
総数	796	1,016	-220	-21.7	487	687	-200	-29.1	197	213	-16	-7.5	61.2	67.6	-6.4
侵入窃盗	746	957	-211	-22.0	439	636	-197	-31.0	176	165	+11	+6.7	58.8	66.5	-7.7
住宅対象	321	421	-100	-23.8	160	228	-68	-29.8	68	58	+10	+17.2	49.8	54.2	-4.4
その他	425	536	-111	-20.7	279	408	-129	-31.6	108	107	+1	+0.9	65.6	76.1	-10.5
自動車盗	37	27	+10	+37.0	38	23	+15	+65.2	14	12	+2	+16.7	102.7	85.2	+17.5
ひったくり	4	10	-6	-60.0	3	8	-5	-62.5	0	6	-6	-100.0	75.0	80.0	-5.0
すり	9	22	-13	-59.1	7	20	-13	-65.0	7	30	-23	-76.7	77.8	90.9	-13.1

5 特別法犯

1 特別法犯の推移



2 特徴

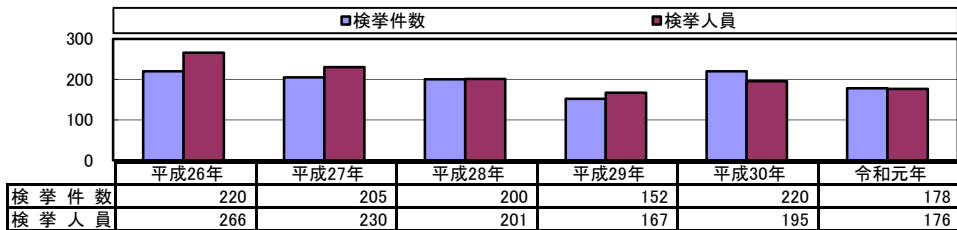
- 前年に比較して、検挙件数は減少、検挙人員は増加。
- 主な法令別では、覚せい剤取締法が99件71人、犯罪収益移転防止法が63件48人、迷惑防止条例が53件47人。

3 主な法令の検挙状況

区分	検挙件数				検挙人員			
	元年	30年	増減 件数	増減 率(%)	元年	30年	増減 件数	増減 率(%)
総数	547	573	-26	-4.5	498	490	+8	+1.6
うち)覚せい剤取締法	99	120	-21	-17.5	71	101	-30	-29.7
うち)犯罪収益移転防止法	63	49	+14	+28.6	48	41	+7	+17.1
うち)迷惑防止条例	53	38	+15	+39.5	47	30	+17	+56.7

6 暴力団犯罪

1 暴力団犯罪の推移



2 特徴

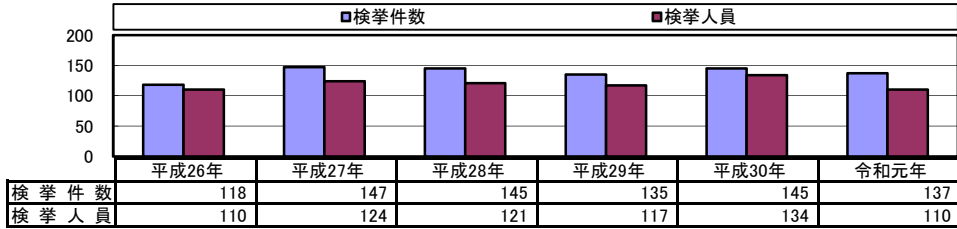
- 前年に比較して、検挙件数、検挙人員ともに減少。
- 主な罪種・法令別では、暴行が26件29人、覚せい剤取締法が33件27人。

3 主な罪種・法令の検挙状況

区分	検挙件数				検挙人員			
	元年	30年	増減 件数	増減 率(%)	元年	30年	増減 件数	増減 率(%)
総数	178	220	-42	-19.1	176	195	-19	-9.7
刑法犯総数	115	153	-38	-24.8	116	130	-14	-10.8
うち)暴行	26	26	±0	-	29	27	+2	+7.4
うち)傷害	17	23	-6	-26.1	23	24	-1	-4.2
特別法犯総数	63	67	-4	-6.0	60	65	-5	-7.7
うち)覚せい剤取締法	33	40	-7	-17.5	27	34	-7	-20.6
うち)犯罪収益移転防止法	6	4	+2	+50.0	7	4	+3	+75.0

7 薬物犯罪
(覚せい剤取締法、大麻取締法、麻薬等取締法、麻薬等特例法、あへん法、危険ドラッグ)

1 薬物犯罪の推移



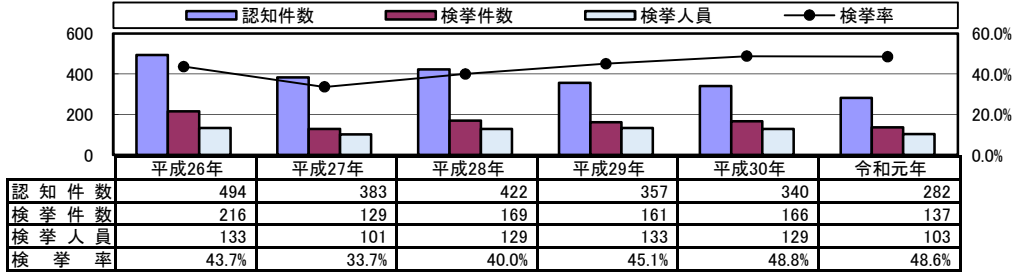
前年比
検挙件数 -8
検挙人員 -24

2 特徴

- 前年に比較して、検挙件数、検挙人員ともに減少。
- 法令別では、覚せい剤取締法が99件71名、大麻取締法が29件30名、麻薬等取締法が5件5名、麻薬等特例法が4件4名。

8 知能犯罪

1 知能犯罪の推移



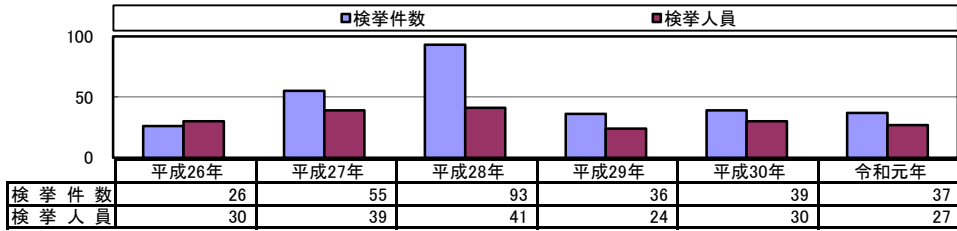
前年比
認知件数 -58
検挙件数 -29
検挙人員 -26
検挙率 -0.2

2 特徴

- 前年に比較して、認知件数、検挙件数、検挙人員ともに減少。
- 認知件数の罪種別では、横領、偽造は増加し、詐欺、背任は減少。

9 来日外国人犯罪

1 来日外国人犯罪の推移



前年比
検挙件数 -2
検挙人員 -3

2 特徴

- 前年に比較して、検挙件数、検挙人員ともに減少。
- 国籍別の検挙人員は、中国が13人、ベトナムが9人、インドネシアが2人、韓国、イギリス、コロンビアが各1人。

10 全国・四国各県
認知・検挙状況

1 刑法犯

区分	認知件数			検挙件数			検挙人員			検挙率		
	元年	30年	増減	元年	30年	増減	元年	30年	増減	元年	30年	増減
都道府県												
全国	748,559	817,338	-68,779	294,206	309,409	-15,203	192,607	206,094	-13,487	39.3	37.9	+1.4
徳島	3,111	3,094	+17	1,654	1,691	-37	809	910	-101	53.2	54.7	-1.5
香川	4,962	5,222	-260	2,688	2,646	+42	1,536	1,595	-59	54.2	50.7	+3.5
愛媛	7,446	8,626	-1,180	3,094	4,074	-980	2,056	2,401	-345	41.6	47.2	-5.6
高知	3,562	4,052	-490	1,545	1,652	-107	939	920	+19	43.4	40.8	+2.6

2 特徴

- 全国の刑法犯は、前年に比較して、認知件数、検挙件数、検挙人員ともに減少。
- 四国各県の刑法犯認知件数を比較すると、愛媛、香川、高知、徳島の順に高い数値となっている。

3 罪種別認知件数(前年比較)

区分	凶悪犯		粗暴犯		窃盗犯		知能犯		風俗犯		その他の刑法犯	
	増減	増減	増減	増減	増減	増減	増減	増減	増減	増減	増減	
都道府県												
全国	4,706	-194	56,753	-2,386	532,565	-49,576	36,031	-6,563	8,710	-402	109,794	-9,658
徳島	21	-10	119	-9	2,352	+114	146	-4	68	+49	405	-123
香川	39	+11	465	+98	3,324	-412	221	-41	63	+7	850	+77
愛媛	22	±0	522	-73	5,064	-1,027	282	-58	85	+1	1,471	-23
高知	17	+6	210	+20	2,653	-431	137	-14	38	+12	507	-83

4 重要犯罪・重要窃盗(前年比較)

区分	重要犯罪						重要窃盗									
	認知件数	増減	検挙件数	増減	検挙人員	増減	認知件数	増減	検挙件数	増減	検挙人員	増減	検挙率	増減		
都道府県																
全国	9,899	-645	8,507	-401	7,386	+13	85.9	+1.4	69,645	-6,929	42,722	-3,238	7,793	-681	61.3	+1.3
徳島	30	-17	32	-6	38	+8	106.7	+25.8	222	-17	164	+6	32	-6	73.9	+7.8
香川	76	+21	72	+22	73	+27	94.7	+3.8	377	-72	253	-69	51	-30	67.1	-4.6
愛媛	74	+4	62	-2	53	-1	83.8	-7.6	796	-220	487	-200	197	-16	61.2	-6.4
高知	41	+16	34	+9	37	+12	82.9	-17.1	362	-48	269	-69	52	-16	74.3	-8.1